

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[RADIUS プロファイル](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[SSD 2.5.1 のシングルサインオン機能とは](#)

[SSG および SSD を設定する前に知っておくべきこと](#)

[PPPoA セッションの設定後、SSD ログオンを設定する前に行うこと](#)

[SSD シングルサインオン機能のテスト方法](#)

[SSD デバッグの実行方法](#)

[デバッグの出力例](#)

[NRP1 の出力](#)

[L2TP アクセス コンセントレータ \(LAC \) の出力](#)

[LNS の出力](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に説明がある設定例は非同期転送モード (PPPoA) 上のポイントツーポイント プロトコルを使用してアクセスをインターネットサービスプロバイダー (ISP) ネットワークそのリモートクライアントに示します。

リモートクライアントはレイヤ3 Service Selection Gateway/Service Selection Dashboard (SSG/SSD) を使用して Layer 2 Tunneling Protocol (L2TP) サービスにアクセスしたいと思います。L2TP サービスは 15.15.15.5 のホスト IP アドレスと設定で表されます。ダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコルを使用する、Cisco 677 は 255.255.255.0 のマスクを 10.0.0.2 の IP アドレスプールからの 10.0.0.254 に PC に IP アドレスに、与えます。また、ポートアドレス変換 (PAT) は Cisco 677 で有効になります。

この設定例のための 3 つのテストがあります:

- サービスの異なるステップの間の SSG 関連のデバッグはリモートクライアントによってログオンします。
- シングルサインオン SSD 2.5.1 機能。
- SSD デバッグを有効にすること。

はじめに

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

前提条件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco C6400R ソフトウェア (C6400R-G4P5-M)、バージョン 12.1(5)DC1
- Cisco 7200 ソフトウェア (C7200-IS-M)、バージョン 12.2(1)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

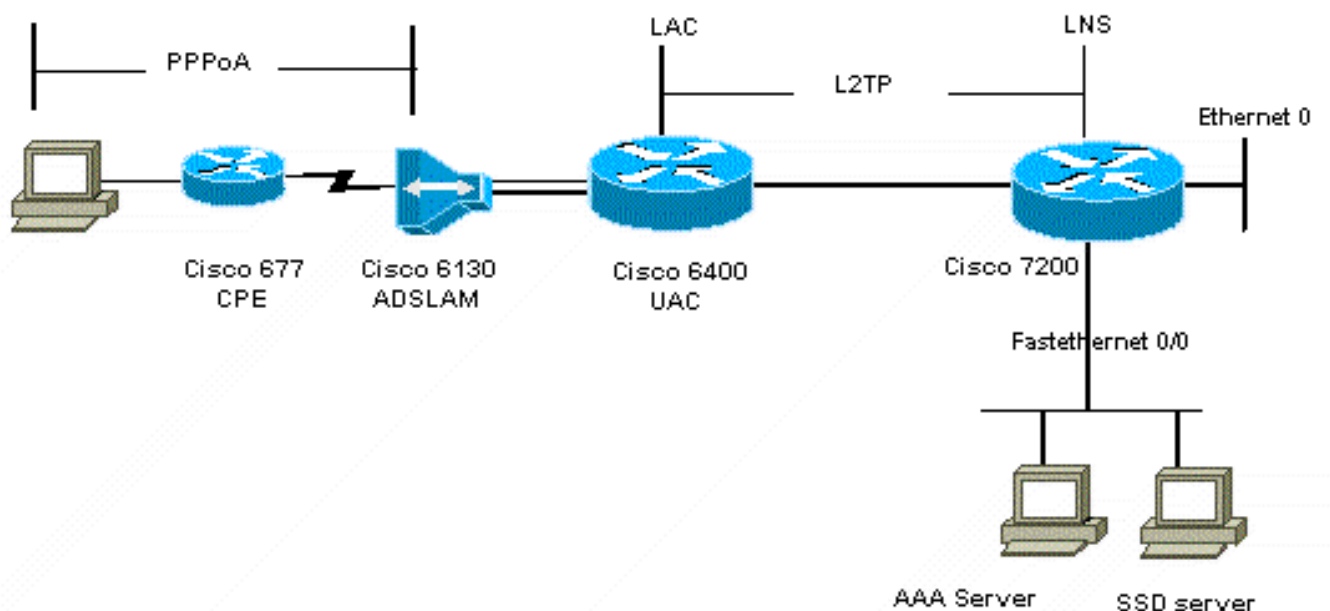
設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

ネットワーク図

このドキュメントでは次の図に示すネットワーク



設定

このドキュメントでは次に示す設定を使用しています。

- [Cisco 6400 LAC \(airtel_nrp3 \)](#)
- [Cisco 7204 LNS \(ホスト名 ior \)](#)
- [Cisco 677](#)

Cisco 6400 LAC (airtel_nrp3)

Cisco 7204 LNS (ホスト名 ior)

新しい設定を設定する前にデフォルト 設定に Cisco 677 をリセットして下さい。デフォルト 設定 使用を復元するため **set nvram erase** コマンド; 例 :

```
cbos#set nvram eraseErasing running configuration.You must use "write" for changes to be permanent.cbos#writeNVRAM written.cbos#reboot
```

Cisco 677 Cisco Broadband Operating System (CBOS) の DHCPサーバ 機能を有効に することは自動的に指名されるプールを "pool0" 作成し、255.255.255.0 のマスクの 10.0.0.0 のサブネットを割り当てます。デフォルトで、Cisco 677 イーサネットインターフェイスの IP アドレス 10.0.0.1 のアドレスは割り当てられ、"pool0" はローカルLAN clients/PC のための 10.0.0.2 と 10.0.0.254 間の IP アドレスをリースそれからできます。

Cisco 677

cbos#set nvram eraseErasing running configuration.You must use "write" for changes to be permanent.cbos#writeNVRAM written.cbos#reboot
--

RADIUS プロファイル

次のリモートダイヤルインユーザサービス (RADIUS) プロファイルはリモートユーザとサービスのためです。

- [リモートユーザの hisham プロファイル](#)
- [サービス グループ移動のプロファイル](#)
- [サービス グループ都市のプロファイル](#)
- [cairo.com サービスのプロファイル](#)
- [ネクストホップ テーブルのプロファイル](#)

リモートユーザの hisham プロファイル

cbos#set nvram eraseErasing running configuration.You must use "write" for changes to be permanent.cbos#writeNVRAM written.cbos#reboot
--

サービス グループ移動のプロファイル

cbos#set nvram eraseErasing running configuration.You must use "write" for changes to be permanent.cbos#writeNVRAM written.cbos#reboot
--

サービス グループ都市のプロファイル

cbos#set nvram eraseErasing running configuration.You must use "write" for changes to be permanent.cbos#writeNVRAM written.cbos#reboot
--

cairo.com サービスのプロファイル
cbos# set nvram erase Erasing running configuration.You must use "write" for changes to be permanent.cbos# write NVRAM written.cbos# reboot
ネクストホップ テーブルのプロファイル
cbos# set nvram erase Erasing running configuration.You must use "write" for changes to be permanent.cbos# write NVRAM written.cbos# reboot

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

SSD 2.5.1 のシングルサインオン機能とは

この機能は SSDサーバに適用されます。SSDサーバが HTTPトラフィックを送信する リモートクライアントのためのキャッシュ データベースのホスト オブジェクトを見つけることができないとき SSG にアクセス 要求を送信します。SSG にホスト オブジェクトがある場合、SSD にアクセスを受け入れますメッセージを送信します。ユーザはそれからサービスへの対するアクセス権の付与できます。

SSD または SSG にホスト オブジェクトがない場合、ユーザは正常な SSD ログオン認証 の手順の SSD で認証を受ける必要があります。

SSG および SSD を設定する前に知っておくべきこと

SSD か SSG を設定する前に、次を確認しなければなりません:

- SSD、SSG、認証、許可、アカウントिंग (AAA) は動作するすべてでありおよびすべてのネットワークエンティティは互いを ping できます。
- リモートユーザは SSDサーバにログオンする前にデフォルトネットワーク (SSG、SSD、AAA) のホストを ping できます。
- Network Access Provider (NAP) は、この場合 Cisco 6400 NRP1、サービスの宛先ネットワークを ping できます。
- リモートクライアントはリモートサービス 宛先ネットワークを ping できません。

PPPoA セッションの設定後、SSD ログオンを設定する前に行うこと

すべての Ssg コマンドが設定された後、ユーザのサービスのためのネクストホップ テーブルが正常にダウンロードされたことを確認して下さい。 **show ssg binding** コマンドを発行して下さい。

```
arielle_nrp3# show ssg bindingcairo.com_key -> 14.14.14.5 (NHT)arielle_nrp3# show ssg
next-hopNext hop table loaded from profile nxthoptbl:cairo.com_key -> 14.14.14.5End of
next hop table.
```

方向バインディングがすべて SSG でアクティブであることを確認して下さい。

```
arielle_nrp3# show ssg directionVirtual-Template66: Downlink!--- You can verify this by enabling
```

```
debug ssg ctrl-events after the !--- remote user tries to initiate its PPPoA session to access
the NRP.Jun 18 02:13:12.791: SSG-CTL-EVN: Handling PPP logon for user hisham.Jun 18
02:13:12.791: SSG-CTL-EVN: Locate/create SSG sub-block from/for Virtual-Access3.Jun 18
02:13:12.791: SSG-CTL-EVN: Checking for old HostObject in the sub-block.Jun 18 02:13:12.791:
SSG-CTL-EVN: SSG: pppterm: NO extra data for PPP logonJun 18 02:13:12.791: SSG-CTL-EVN:
Authenticating user hisham for PPP logon.Jun 18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: Creating HostObject
for the PPP user hisham.Jun 18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: Set Host Mac Address .Jun 18
02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: ** attr->type = 6Jun 18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: ATTR_LOOP = 1Jun
18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: ** attr->type = 7Jun 18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: ATTR_LOOP =
2Jun 18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: ATTR_LOOP = 3Jun 18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: ATTR_LOOP =
4Jun 18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: PPP logon for user hisham is accepted.The link is Virtual-
Access3Jun 18 02:13:12.799: SSG-CTL-EVN: Bind the HostObject to Virtual-Access3.!--- Downlink
binding success.Jun 18 02:13:12.867: SSG-CTL-EVN: IPCP is up. Locate SSG sub-block from Virtual-
Access3.Jun 18 02:13:12.871: SSG-CTL-EVN: Locate HostObject from the sub-block.Jun 18
02:13:12.871: SSG-CTL-EVN: Set Host IP 212.93.193.114.!--- Host object is created.Jun 18
02:13:12.879: SSG-CTL-EVN: Host Mac Address lookup failedJun 18 02:13:12.879: SSG-CTL-EVN:
Activate the HostObject.Link=Virtual-Access3!--- Host object is active.Jun 18 02:13:12.879: SSG-
CTL-EVN: ##### ssg_l2tp_ip_up:03:49:01: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Virtual-
Access3,changed state to up
```

クライアントが SSDサーバに HTTPセッションを始めているとき、ユーザは SSDサーバ ログオン ホームページを見ます。

注Unix shell コマンド `root@crazyball[/export/home/ssd251/ssd]startSSD.sh` の発行から SSDサーバ オペレーションを開始することを忘れないようにして下さい。

[SSD シングル サインオン機能のテスト方法](#)

1. dashboard.conf ファイルのパラメータ (REAUTHENTICATE=off) を設定して下さい。 デフォルト値は REAUTHENTICATE=on です。
2. SSD の Webページへのログイン。 たとえば cairo.com サービス ホームページにログオンされるが、ブラウザを閉じ、次に `http://10.200.56.40:8080` と再度開いて下さい。

SSD のホスト オブジェクトはキャッシュにまだあります、従って以前に記録されたこと SSD サービス ページに再度ログオンできるはずですが、デフォルトの動作は SSD で再認証することです; すなわち、SSD ログオン ホームページに到達しなければなりません。

[SSD デバッグの実行方法](#)

1. ブラウザのアドレスバーの `https://10.200.56.40:8443/log` を入力して下さい。
2. 『Set Option』 をクリックして下さい。 『Run』 を選択した、および出力はログファイル ログオンされますすべてのデバッグ。 ログ ファイル名のための形式は `yy_mm_dd.request.log` です。
3. ログファイルが常駐する SSDサーバのディレクトリにナビゲートして下さい。
4. UNIX エディタを使用する、デバッグ 出力を表示するためにファイル `/export/home/ssd251/ssd/logs]vi yy_mm_dd.request.log` を開いて下さい。

[デバッグの出力例](#)

[NRP1 の出力](#)

```
arielle_nrp3# show debuggingSSG:SSG data path packets debugging is onSSG control path events
debugging is onSSG control path packets debugging is onSSG packets debugging is onRadius
protocol debugging is onJust before the SSD logon, the output of these debugs are :Jun 18
23:30:08.414:SSG-DATA:CEF-SSGSubBlock=0(AT0/0/0.61:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:30:09.530:SSG-
```

```

DATA:CEF-FIB_FLAG_RECEIVE=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.6)Jun 18 23:30:11.142:SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(AT0/0/0.61:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:30:11.494:SSG-DATA:CEF-
FIB_FLAG_RECEIVE=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.6)Jun 18 23:30:12.482:SSG-DATA:CEF-
FIB_FLAG_RECEIVE=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.6)Jun 18 23:30:13.310:SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(AT0/0/0.61:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:30:14.462:Jun 18 23:39:39.610: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.638:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 18 23:39:39.638:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 18 23:39:39.642: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.642:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 18 23:39:39.646: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.674:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 18 23:39:39.678:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 18 23:39:39.678: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.682:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 18 23:39:39.686:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 18 23:39:39.686: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.698: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.742: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.926: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.926: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.926: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 18 23:39:39.926: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 19 00:39:17.477: RADIUS: Initial Transmit id 18
10.200.56.16:1645,Access-Request, len 58Jun 19 00:39:17.477: Attribute 4 6 D45DC301Jun
19 00:39:17.477: Attribute 61 6 00000000Jun 19 00:39:17.477: Attribute 1 8
68697368Jun 19 00:39:17.477: Attribute 2 18 31B0CDC2Jun 19 00:39:17.481: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 19 00:39:17.481: RADIUS: Received from id 18
10.200.56.16:1645,Access-Accept, len 70Jun 19 00:39:17.481: Attribute 6 6 00000002Jun 19
00:39:17.481: Attribute 7 6 00000001Jun 19 00:39:17.481: Attribute 26 20
00000009FA0E4754Jun 19 00:39:17.481: Attribute 26 18 00000009FA0C4742Jun 19
00:39:17.481: RADIUS: saved authorization data for user 61E73934 at61E72A58Jun 19 00:39:17.481:
SSG-CTL-EVN: Creating HostObject for host212.93.193.114.Jun 19 00:39:17.489: SSG-CTL-EVN: Set
Host Mac Address .Jun 19 00:39:17.489: SSG-CTL-EVN: ** attr->type = 6Jun 19 00:39:17.489: SSG-
CTL-EVN: ATTR_LOOP = 1Jun 19 00:39:17.489: SSG-CTL-EVN: ** attr->type = 7Jun 19 00:39:17.493:
SSG-CTL-EVN: ATTR_LOOP = 2Jun 19 00:39:17.493: SSG-CTL-EVN: ATTR_LOOP = 3Jun 19 00:39:17.493:
SSG-CTL-EVN: ATTR_LOOP = 4Jun 19 00:39:17.493: SSG-CTL-EVN: Account logon is
accepted(212.93.193.114,hisham).arielle_nrp3# show ssg host 212.93.193.114-----
-- HostObject Content -----Activated: TRUEInterface: Virtual-Access3User Name:
hishamHost IP: 212.93.193.114Msg IP: 10.200.56.40 (9902)Host DNS IP: 0.0.0.0Maximum Session
Timeout: 0 secondsHost Idle Timeout: 0 secondsClass Attr: NONEUser logged on since: 01:54:33.000
UTC Tue Jun 19 2001User last activity at: 01:54:33.000 UTC Tue Jun 19 2001Default Service:
NONEDNS Default Service: NONEActive Services: NONE!--- No Services are active yet.AutoService:
NONESubscribed Services:The following output also results from the debug commands that are
turned on before the SSD logon. Jun 19 02:06:39.529:SSG-DATA:CEF-
FIB_FLAG_RECEIVE=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.6)Jun 19 02:06:40.789:SSG-DATA:CEF-
MulticastDest=1(AT0/0/0.61:14.14.14.5->224.0.0.10)Jun 19 02:06:41.581:SSG-DATA:CEF-
FIB_FLAG_RECEIVE=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.6)Jun 19 02:06:42.509:SSG-DATA:CEF-
FIB_FLAG_RECEIVE=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.6)Jun 19 02:06:43.313:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 19 02:06:43.313: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 19 02:06:43.349:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 19 02:06:43.353:arielle_nrp3# show ssg
host 212.93.193.114----- HostObject Content -----Activated:
TRUEInterface: Virtual-Access3User Name: hishamHost IP: 212.93.193.114Msg IP: 10.200.56.40
(9902)!--- Message server IP & port address, and TCP port used. !--- This is configured in the
dashboard.conf file.Host DNS IP: 0.0.0.0Maximum Session Timeout: 0 secondsHost Idle Timeout: 0
secondsClass Attr: NONEUser logged on since: 01:54:33.000 UTC Tue Jun 19 2001User last activity
at: 01:54:33.000 UTC Tue Jun 19 2001Default Service: NONEDNS Default Service: NONEActive
Services: NONEAutoService: NONESubscribed Services:arielle_nrp3#

```

この時点でユーザはあらゆるサービスにログオンしませんでした。クライアントは最初に中東を、カイロ、そして SSD Webページの Service リストの Egyptian Capital 見ます。クライアントが Egyptian Capital をクリックした後、ユーザ名 および パスワード フィールドはページに現れます。アクティブなサービスはクライアントにまだ関連付けられていません。クライアントが cairo.com サービスへのアクセス権を得るために提供するユーザ名 および パスワードは L2TP

Network Server (LNS) によって設定されるユーザ名 および パスワードとマッチする必要があります。このセットアップでは、LNS はユーザをローカルで認証しています。ユーザ名は ayman@cairo.com であり、パスワードは ayman です。

L2TP アクセスコンセントレータ (LAC) の出力

```
arielle_nrp3# show debugging SSG:SSG data path packets debugging is onSSG control path events
debugging is onSSG control path packets debugging is onSSG packets debugging is onVPN:L2X
protocol events debugging is onL2X data packets debugging is onL2X control packets debugging is
onL2TP data sequencing debugging is onRadius protocol debugging is onJun 19 02:34:48.121:SSG-
DATA:CEF-FIB_FLAG_RECEIVE=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.6)Jun 19 02:34:48.157:SSG-DATA:CEF-
FIB_FLAG_RECEIVE=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.6)Jun 19 02:34:49.681:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 19 02:34:49.685: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 19 02:34:49.717:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 19 02:34:49.725:SSG-DATA:CEF-UP-
DefaultNetwork=1(Vi3:212.93.193.114->10.200.56.40)Jun 19 02:34:49.725: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 19 02:34:49.777: SSG-DATA:CEF-
SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 19 02:34:49.777: SSG-CTL-PAK: Received
Packet:sIP=10.200.56.40 sPort=37638 dIP=10.200.56.6 dPort=1645Jun 19 02:34:49.777: header:
code=1, id=19, len=102,auth=3F53BB3F2939DAA1E5D9435792491CD3Jun 19 02:34:49.777: attr:
type=1, len=17, val=ayman@cairo.comJun 19 02:34:49.777: attr: type=2, len=18,
val=(89)(C4)/}(BB)(8F)Jun 19 02:34:49.777: attr: type=6, len=6, val=(00)(00)(00)(02)Jun 19
02:34:49.777: attr: type=26, len=23,Jun 19 02:34:49.777: SSG-CTL-EVN: Downloading service
profile for servicecairo.com.Jun 19 02:34:49.777: RADIUS: ustruct sharecount=1Jun 19
02:34:49.777: RADIUS: Initial Transmit id 73 10.200.56.16:1645,Access-Request, len 67Jun 19
02:34:49.777: Attribute 4 6 D45DC301Jun 19 02:34:49.777: Attribute 61 6
00000000Jun 19 02:34:49.777: Attribute 1 11 63616972Jun 19 02:34:49.777:
Attribute 2 18 51CF64B7Jun 19 02:34:49.777: Attribute 6 6 00000005Jun 19 02:34:49.785:
SSG-DATA:CEF-SSGSubBlock=0(Fa0/0/0:0.0.0.0->0.0.0.0)Jun 19 02:34:49.785: RADIUS: Received from
id 73 10.200.56.16:1645,Access-Accept, len 275Jun 19 02:34:49.785: Attribute 6 6
00000005Jun 19 02:34:49.785: Attribute 26 27 0000000901157670Jun 19 02:34:49.785:
Attribute 26 40 0000000901227670Jun 19 02:34:49.785: Attribute 26 30 0000000901187670Jun
19 02:34:49.785: Attribute 26 37 00000009011F7670Jun 19 02:34:49.789: SSG-CTL-EVN: #####
ssg_l2tp_disc_cause: termCause=1026Jun 19 02:34:49.789: SSG-CTL-EVN: ssg_l2tp_disc_routine:Jun
19 02:34:49.801: SSG-CTL-EVN: Checking service mode.Jun 19 02:34:49.801: SSG-CTL-EVN:
ServiceLogon: Enqueue request of servicecairo.comarielle_nrp3# show ssg host 212.93.193.114-----
----- HostObject Content -----Activated: TRUEInterface: Virtual-
Access3User Name: hishamHost IP: 212.93.193.114Msg IP: 10.200.56.40 (9902)Host DNS IP:
0.0.0.0Maximum Session Timeout: 0 secondsHost Idle Timeout: 0 secondsClass Attr: NONEUser logged
on since: 01:54:33.000 UTC Tue Jun 19 2001User last activity at: 02:34:49.000 UTC Tue Jun 19
2001Default Service: NONEDNS Default Service: NONEActive Services: cairo.com!--- A service is
active.AutoService: NONESubscribed Services:arielle_nrp3# show ssg service cairo.com-----
----- ServiceInfo Content -----Uplink IDB:Name: cairo.comType:
TUNNELMode: CONCURRENTService Session Timeout: 0 secondsService Idle Timeout: 0
secondsAuthentication Type: CHAPNext Hop Gateway Key: cairo.com_keyDNS Server(s):TunnelId:
napTunnelPassword: CAIROHomeGateway Addresses: 15.15.15.5Included Network
Segments:15.15.15.4/255.255.255.252Excluded Network Segments:ConnectionCount 1Full User Name not
usedDomain List: cairo.com;Active Connections:1 RealIP=212.93.197.114,
Subscriber=212.93.193.114----- End of ServiceInfo Content -----
```

上記の出力では RealIP はユーザhisham にサービス ネットワークによって与えられる IP アドレスです。Subscriber フィールドは IP アドレス ユーザhisham が SSG NRP アクセス ネットワークによって与えられたことを示します。

```
arielle_nrp3# show ssg connection 212.93.193.114 cairo.com-----
ConnectionObject Content ----- User Name: ayman@cairo.com Owner Host:
212.93.193.114 Associated Service: cairo.com Connection State: 0 (UP) Connection Started since:
02:34:51.000 UTC Tue Jun 19 2001 User last activity at: 02:34:51.000 UTC Tue Jun 19 2001
Connection Real IP: 212.93.197.114 L2TP VIDB: Virtual-Access4 L2TP Session Key: 0 Connection
Traffic Statistics: Input Bytes = 0 (HI = 0), Input packets = 0 Output Bytes = 0 (HI = 0),
Output packets = 0
```

LNS の出力

```
ior# show debugging VPNL2X protocol events debugging is onL2X data packets debugging is onL2X
control packets debugging is onL2TP data sequencing debugging is on*Jun 18 19:27:09.851 PDT:
L2X: Parse AVP 0, len 8, flag 0x8000 (M)*Jun 18 19:27:09.851 PDT: L2X: Parse SCCRQ*Jun 18
19:27:09.851 PDT: L2X: Parse AVP 2, len 8, flag 0x8000 (M)*Jun 18 19:27:09.851 PDT: L2X:
Protocol Ver 256*Jun 18 19:27:09.851 PDT: L2X: Parse AVP 3, len 10, flag 0x8000 (M)*Jun 18
19:27:09.851 PDT: L2X: Framing Cap 0x0*Jun 18 19:27:09.851 PDT: L2X: Parse AVP 4, len 10, flag
0x8000 (M)*Jun 18 19:27:09.851 PDT: L2X: Bearer Cap 0x0*Jun 18 19:27:09.855 PDT: L2X: Parse AVP
6, len 8, flag 0x0*Jun 18 19:27:09.855 PDT: L2X: I SCCRQ, flg TLS, ver 2, len 128, tnl 0, cl 0,
ns 0, nr 0C8 02 00 80 00 00 00 00 00 00 00 00 80 08 00 0000 00 00 01 80 08 00 00 00 02 01 00 80
0A 00 0000 03 00 00 00 00 80 0A 00 00 00 04 00 00 00 ...*Jun 18 19:27:09.855 PDT: L2TP: I SCCRQ
from nap tnl 13552*Jun 18 19:27:09.855 PDT: Tnl 4818 L2TP: Got a challenge in SCCRQ, nap*Jun 18
19:27:09.855 PDT: Tnl 4818 L2TP: New tunnel created for remote nap,
```

関連情報

- [Cisco DSL 技術サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)